

校訓	スクールミッション	育成する生徒像	学校標語
生をよこべ 矩にしたがえ 全力をつくせ	(1) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒を育成する。 (2) 豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会人・職業人となる生徒を育成する。 (3) 学校教育目標と学校標語「シマレ ガンバレ」に基づき、社会人としての基礎・基本を身に付け、持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付け、社会に貢献できる有為な人材を育成する。	(1) 基本的な生活習慣の確立に向けて、自らの感性や創造性を磨く生徒。 (2) 持続可能な地域の創り手としての資質・能力を身に付けた生徒。 (3) 心身ともに健全で、思いやりの心と感謝の気持ちで、笑顔で挨拶できる生徒。 育成を目指す資質・能力 (1)行動力 (2)協働力 (3)自己指導力	『シマレ ガンバレ』 (昭和8年制定) 『拳校大和』 (昭和32年制定)

- 経営方針**
- 1 スクールミッションを果たすため、保護者や地域と協働して不断の改善を行う。
 - 2 今日的課題の解決に積極的に取り組む。(ICT、働き方改革、感染対策)。
 - 3 教職員が「学び、学び合う」学校、生徒を主語にする学校づくりに努める。

教育活動	領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
学習指導	意欲的に学び続けることができる生徒の育成		新・教育課程の充実	新学習指導要領を踏まえて、教育課程を編成・実施・評価し、改善するPDCAサイクルを確立することができたか。	教務部、教科
			生徒の授業満足度の向上	生徒の授業アンケートをもとに、研修等の授業改善の取組を行い、授業満足度を向上させるとともに、生徒の学び意欲の向上に資することができたか。	教務部、教科
			授業規律の組織的改善	不用意な欠課や、授業中の携帯使用といった授業を受けるための基本的マナーについての組織的で継続的な指導を行いつつ、基礎的な学力の向上が図られたか。	教務部、生徒指導部
進路指導	進路意識の高揚と社会人としてのマナーの養成による生徒の進路実現		進路指導の充実	外部支援団体の講演等を活用し、マナー指導や就労意欲を向上させる取り組みを実施する等、キャリア教育の充実、進路意識の高揚が図られたか。	教務(進路)、学年
			生徒の状況を踏まえた適切な進路指導の実践	家庭と密接な連携の下、広く情報提供を行い、早期に進路目標を決定させるとともに、奨学金制度等を適切に説明・活用ができたか。	教務(進路)、学年、事務部
生徒指導	共通理解と生徒理解の上に立った自覚、責任、自立ある生徒の育成		生徒会行事の充実	生徒に身に付けさせたい資質・能力や行事の目的を明確化し、生徒自身が作る生徒会行事へと意識を変えることができたか。	生徒指導部
			自己管理能力の向上	中抜け、無断欠席、あいさつ、スマホの利用に関するルールやマナー等の規範意識に関する指導を、教職員の共通理解のもとで継続して適切に行われたか。	生徒指導部、学年
			いじめ防止対策の充実	定例だけでなく、予防的視点をもった日常的な個人面談を行い、生徒が安心して学校生活を送れる体制を確保できたか。	生徒指導部、学年
			部・同好会の活性化	部員数の確保をしつつ、定体連後にも継続して部活動に参加させることができたか。	生徒指導部、部顧問
健康・安全指導	他者を尊重し円滑なコミュニケーションをとることができる生徒の育成		個別支援体制の充実	生徒個々の家庭環境や困り感を詳細に把握し、支援が必要な生徒について、個別の指導計画の作成、教職員間の情報共有など、組織的で持続的な支援が行われたか。	生徒指導部、学年
			危機管理体制の向上	危機管理マニュアルに則り、部外者の学校への出入りの制限が効果的に行われたか。	生徒指導部、教頭、事務部
			コミュニケーション能力・社会性の向上	適性検査等を実施し、生徒の個々の性格や適性を分析し、指導に活用することで生徒間のコミュニケーションが促進できたか。	各分掌、教頭

学校経営	領域	中期目標	今年度目標	目標達成のための具体的方策・評価の観点	関連分掌等
地域に信頼される学校づくり	保護者や地域との協働		学校評価の活用	学校評価を真摯に受け止め、具体的な改善につなげることができたか。	教務部、教頭
			積極的な情報発信	スピード感をもって、保護者、地域や中学生のニーズに応える発信ができていますか。	教務部、教頭
			保護者のニーズ把握	保護者面談・三者面談、家庭訪、給食試食会等、保護者との機会を増やし、理解を深めることができたか。	各分掌、学年、教頭
組織運営	今日的課題への対応		会議等の効率化	ICT 機器の活用、資料の事前配布や説明の簡略化など、目的を明確にした効率的な会議となっているか。	各分掌
			分掌組織の活性化	月例の分掌会議や定期的な委員会を実施し、各分掌・委員会の課題を明確にし、改善に向けた取り組みを検討・実施できたか。	各分掌
			働き方改革の取組	職員の意見を積極的に取り入れるなど、持続可能な学校体制の整備が図られたか。	各分掌
教職員の資質向上	本校教職員としての自覚と責任の共有		授業研究の充実	生徒の実態を把握し、個別最適な学びを保障することができているか。	教務部、各教科
			校内研修の充実	先生自身が「学び、学び合う」ことができているか。生徒に教えたことが、生徒側の学びにきちんとつながっているかどうかを常に振り返って検証しているか。	管理職、生徒指導部、各教科
			コミュニケーション	嗜好や愚痴を共有できるコミュニケーションがあり、不祥事が起こりにくい職場環境となっているか。	管理職